

Irvine Systems



Network

エンタープライズ・システム構築、ウェブアプリケーション開発など、ネットワーク・ソリューションの上流設計から、実装、運用まで

Expression

表現力豊かなデザインとスマートな機能とが、がっちり提携

Global

言語や文化の壁をこえて技術を提供

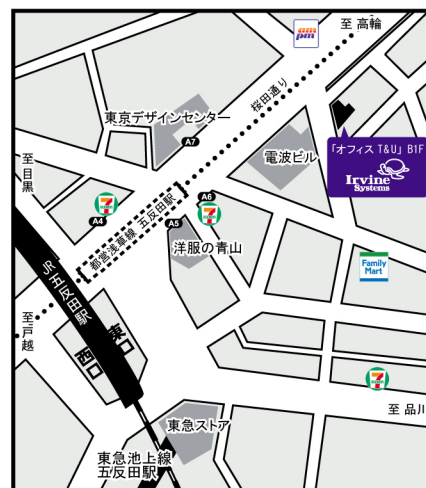
会社概要

Corporate Profile

会社名 株式会社アーヴァイン・システムズ
所在地 〒141-0022 東京都品川区東五反田1-10-10
オフィスT&U B1F
電話 03-5475-5001
FAX 03-5475-5002
URL <http://www.irvinesystems.co.jp>
代表 中島 雅弘
設立 2004年1月13日

周辺地図

Map



情報セキュリティマネジメントシステム

Information Security Management System

アーヴァイン・システムズが取得しているISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014は、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格です。情報セキュリティマネジメントシステム(Information Security Management System/ ISMS)を確立し、導入すること、導入したシステムを運用、監視、見直しながら維持し、改善してゆくためのモデルを提供することを目的としています。



ITコンサルティング

◇ ITコンサルティングの4つの柱

• Technologies

アーヴァイン・システムズのコンサルタントは、全員技術者です。最前線の技術を使って、日々システム開発、運用に携わっている強みを、コンサルティングに活かします。

• Extensive Background

私たちはネットワーク、データベース、エンターテインメントの各分野において数々の設計、構築、運用プロジェクトに携わり、多様な専門性を培ってきました。関わったプロジェクトの数や幅が、そのままアーヴァイン・システムズのコンサルティングの厚みとなっています。

• Strategies

技術者ならではの視点で戦略設計をおこないます。企業のマネジメントとITとを戦略的に橋渡しすることで、企業のベネフィットを最大化することができます。

• Global

アーヴァイン・システムズのITコンサルティングには、言語や文化の壁はありません。海外のチーム、パートナーとのスムーズなITプロジェクト推進をお手伝いいたします。



◇ グローバル・プロジェクト支援サービス

アーヴァイン・システムズは、国内外複数拠点におけるソフトウェア開発、海外におけるビジネスの立ち上げや、ウェブ・サービスのワールドワイド展開、日本企業のITグローバル化、海外ライセンスや技術の国内における商品化/サービス化、エンターテインメント・コンテンツの国際化など、国際プロジェクトを数多く成功させた実績があります。

アーヴァイン・システムズは、言語や文化の壁をこえて、技術を提供します。



◇ 情報セキュリティ・システムの構築と運用支援サービス

情報セキュリティへの注目度は日々高まってきています。

情報漏洩などの事故の影響は、直接被害(利益/機会損失)だけでなく間接被害(損害賠償・広報費・臨時対策費など)や潜在的被害(ブランド低下など)と多岐に渡り、被害の深刻さは計りしれません。アーヴァイン・システムズの経験豊富なエンジニアが、貴社に最適な情報セキュリティ・ポリシーおよび情報セキュリティ運用体制の確立、情報セキュリティに関する社内教育の導入と運用をご支援いたします。

◇ ソフトウェア・ローカライゼーション / インターナショナルライゼーション支援サービス

ローカライズ/インターナショナルライゼーションのクオリティは、製品の価値に大きく影響します。その国固有の文化、ダジャレや流行までを深く知る翻訳スタッフと、ソフトウェア・ローカライゼーション・エンジニアとで構成されるプロフェッショナル・チームが、ハードコア・ファンをもうならせる仕事をいたします。

ウェブアプリケーション & ネットワークシステム開発

ネットワーク、データベース、エンターテインメントの各分野において多様な専門性を培った経験豊かなエンジニアが、拡張性と経済性の高いオープンな技術を積極的に用いて、プロジェクトを成功に導きます。

◇アーヴァイン・システムズのネットワーク・システム開発

広範な知識と経験を背景に、堅牢で経済的なネットワーク・システムを実現します。

◇アーヴァイン・システムズのウェブ・アプリケーション開発

ウェブベース・アプリケーション開発は、ユーザー・インタフェース - データベース - プログラムロジック間に、複雑な技術の連携が重要です。アーヴァイン・システムズでは、必要に応じてさまざまなプログラミング・パラダイムを使いこなす柔軟な開発体制をとっています。リッチクライアント開発では、豊かな表現と使いやすさを実現するためにFlashやJavaScriptを組み合わせて使用します。またサーバーサイド環境では、エンタープライズ・システム向けにJavaを、経済性とスピードを重視するならRuby on Railsを、というように有効な技術を積極的に導入して開発効率を高めています。



◇その他ソフトウェア開発

上記以外にも、ネットワーク・ゲームなどの様々なソフトウェア開発を承っております。お気軽にご相談ください。

システム運用

◇豊富な設計・開発・運用経験で実現する、合理的な運用体制

障害がおきないシステムはありません。おきてしまう障害について、(1)問題発生時の予防 (2)問題発生時の対応 (3)問題が再発しないように是正する、リスク管理体制を実現することが大切です。アーヴァイン・システムズは、豊富な運用経験、高度なシステム設計・開発の知識と高い技術力を背景に、合理的なリスク管理体制を実現します。



◇「守る」情報セキュリティからの脱却

脅威に対する守備的な姿勢では、過度なセキュリティの確保によって実用性を欠いたり、問題がおきないようにすることに注力するあまり発生時の対策が不十分になる、などの状況に陥ってしまうことがあります。アーヴァイン・システムズは、適切なリスク・アセスメントによって、効果的なセキュリティ管理体制を構築・運用します。

◇サービスの成長やニーズの変化に伴って対応が可能な柔軟な運用体制

アーヴァイン・システムズは、コスト・パフォーマンスを重視しています。サービスの成長やニーズに合わせた柔軟なサービスをご提供いたします。過投資は避け、システムとサービスの運用状況をみながら、タイムリーにご提案いたします。

ウェブサイト制作

HTMLによる静的コンテンツから、Flash, Java Scriptなどを駆使した豊かな表現や複雑な機能まで、ウェブサイト上に実現いたします。



◇ **PalNavi®**

PalNavi®は、アーヴァイン・システムズが独自に開発した対話型ネットワーク・アプリケーション開発のためのフレームワークです。
PalNavi®は、Macromedia社のFlexのように、Javaによるサーバーサイド技術とFlashによるユーザー・インタフェースをXMLによって橋渡しします。



また、PalNavi®なら、リッチコンテンツ制作に、HTMLやFlashの知識は不要です。PalNavi®には、シナリオをMicrosoft Excelで記述して、素材を当てはめていただくだけで、リッチコンテンツを作り上げるための、オーサリング環境も含んだアプリケーション・プラットフォームとしての側面もあります。

◇ **同報メール配信システム、グループウェア**

同報メール配信システム、アドレス帳、掲示板、News配信システムなどを組み込んだグループウェア、必要なコンポーネントを柔軟に組み合わせてご提供いたします。

◇ **ランディングページ最適化システム、広告配信管理システム**

株式会社アクシズのランディングページ最適化サービス CONDUCTOR™ LPO/広告配信管理システム CONDUCTOR™ ADは、アーヴァイン・システムズが開発・運用を担当しています。

・ **CONDUCTOR™ LPO**

検索エンジンから目的のページに到達しにくい従来の誘導方法や、非常に多くのページ作成が必要となる一般的なLPOとは異なり、各種条件にあわせた情報コントロールをおこなうことで、無駄なコストをかけずにLPOの最大化を図ることができるシステムです。

・ **CONDUCTOR™ AD**

FLASH、動画、フローティングなどのリッチ・メディアや、GIF、JPGコンテンツを一元的に管理、配信することができるシステムです。「時間・曜日別配信機能」、「フリークエンシーコントロール機能」、「ターゲティング機能」、「エキスパンド・フローティング・動画配信機能」等の様々な機能を利用することで、魅力的な広告商品のラインナップが可能となります。

◇ **Corporate Power Audit System (CORPAS)**

「コーポレート・パワー・オーディット・システム」は、グローバルに拠点をもつコミュニケーション・コンサルティング会社フライシュマン ヒラード ジャパンが開発した、企業が「体質の改革」にまで踏み込んで組織変革をおこなうための診断ツールです。アーヴァイン・システムズとのコラボレーションによりオンライン化が実現し、より使いやすいツールとしてご活用いただけるようになりました。変革の担い手である社員・管理職へのWEBアンケートにより「革新力」、「維持発展力」、「知識創造力」のレベルを、測定し、その向上のための課題を把握することで、企業の変革を成功に導きます。